



2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年2月10日

上場会社名 株式会社アイビス 上場取引所 東
コード番号 9343 URL <https://www.ibis.ne.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 栄治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当 (氏名) 安井 英和 (TEL) 052-587-5007
定時株主総会開催予定日 2025年3月27日 配当支払開始予定日 2025年3月11日
有価証券報告書提出予定日 2025年3月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の業績 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|-----------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年12月期 | 4,625 | 13.2 | 1,155 | 166.1 | 1,170 | 173.4 | 839 | 190.8 |
| 2023年12月期 | 4,086 | 20.3 | 434 | 97.4 | 428 | 79.8 | 288 | 71.1 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|-----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年12月期 | 230.06 | 217.40 | 49.7 | 44.1 | 25.0 |
| 2023年12月期 | 84.20 | 81.07 | 33.7 | 25.2 | 10.6 |

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 一百万円 2023年12月期 一百万円

(注) 当社は、2023年3月23日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年12月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-----------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|----------|--|
| | 百万円 | 円 銭 | 百万円 | 円 銭 | % | 円 銭 | | |
| 2024年12月期 | 3,200 | 572.09 | 2,129 | 572.09 | 65.4 | 572.09 | | |
| 2023年12月期 | 2,109 | 353.76 | 1,289 | 353.76 | 61.0 | 353.76 | | |

(参考) 自己資本 2024年12月期 2,093百万円 2023年12月期 1,285百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|-----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年12月期 | 1,202 | △144 | △62 | 2,227 |
| 2023年12月期 | 307 | △192 | 520 | 1,229 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 | 純資産 配当率 |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年12月期 | — | 0.00 | — | 14.00 | 14.00 | 50 | 16.6 | 5.5 |
| 2024年12月期 | — | 0.00 | — | 40.00 | 40.00 | 146 | 17.4 | 8.6 |
| 2025年12月期(予想) | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 | | 21.0 | |

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,905 | 6.1 | 1,250 | 8.2 | 1,254 | 7.2 | 870 | 3.7 | 237.88 |

（注）当社は、2025年1月31日に株式会社テクノスピーチの全株式を取得し、連結子会社化したことから、2025年12月期第1四半期より連結財務諸表を作成いたします。2025年12月期の連結業績予想については現在精査中であり、明らかになり次第、速やかにお知らせいたします。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

（2）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年12月期 | 3,660,044 株 | 2023年12月期 | 3,635,063 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年12月期 | 66 株 | 2023年12月期 | — 株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2024年12月期 | 3,648,079 株 | 2023年12月期 | 3,427,465 株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 4 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 4 |
| (4) 今後の見通し | 5 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 6 |
| 3. 財務諸表及び主な注記 | 7 |
| (1) 貸借対照表 | 7 |
| (2) 損益計算書 | 9 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 11 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 13 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 14 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 14 |
| (セグメント情報等) | 14 |
| (収益認識関係) | 16 |
| (1株当たり情報) | 17 |
| (重要な後発事象) | 18 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境は回復基調にあったものの、エネルギーや原材料価格の高騰による物価の上昇が続きました。一方で、ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東情勢の緊迫化など、国際情勢には不安定さが増しており、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社は、高成長事業であるモバイルペイントアプリ「ibisPaint（アイビスペイント）」シリーズの開発／運営を主軸としたモバイル事業と、安定成長事業であるスマートフォンやタブレットなどのインターネット端末でのアプリケーション開発支援を行うソリューション事業の2本柱で積極的な事業展開を行ってまいりました。世界200以上の国と地域にユーザーを持つ「ibisPaint」においては、デジタルイラストユーザーのトレンドを常に意識した魅力的な新機能や新サービスの更なる拡充に注力し、サブスクリプション課金などのマネタイズ策の強化に取り組んでまいりました。ソリューション事業においては、急速な技術革新を背景にした企業のDX化における生産性向上や競争力強化のためのIT需要を的確に捉え、長年にわたり培ってきた高い技術力と柔軟な対応力を強みに、法人顧客に高度なソリューション提供を更に推進いたしました。

以上の結果、当事業年度の経営成績は、売上高4,625,427千円（前年同期比13.2%増）、営業利益1,155,358千円（前年同期比166.1%増）、経常利益1,170,367千円（前年同期比173.4%増）、当期純利益839,294千円（前年同期比190.8%増）となりました。

事業セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

<モバイル事業>

当事業年度におきましては、主力製品の「ibisPaint」についてはシリーズ累計のダウンロード数を積み重ね、2024年5月2日に大台の4億ダウンロードを達成し、2024年12月末日時点では4億4,967万ダウンロード（前年同期比20.8%増）となりました。モバイル事業では、新機能の追加やサービス拡充、ユーザーの声をもとにしたアプリの改善や仕様変更への対応（Ver. 11.2.0からVer. 12.2.12までリリース）をはじめ、YouTubeでの継続的なお絵描き講座の動画投稿、季節やトレンドに合わせた素材コンテストの開催（第37～44回）及び豊富な無料素材の追加など、常にユーザーフレンドリーを意識した製品の提供に注力してまいりました。2024年3月には、イラストの拡大・縮小を繰り返しても描画した線が劣化しないという「ベクターレイヤー機能」などを実装したVer. 12.0.0をリリースしたほか、PC版の「ibisPaint for Windows」においても、モバイル版と同様のサブスクリプションによるプレミアム会員サービス（月額480円、年額2,950円）を開始いたしました。2024年5月には、画像生成AIによる追加学習を妨げるノイズをイラストに付与し、ユーザー独自の作風が模倣されることを防ぐ「AI学習妨害機能」などを実装したVer. 12.1.0を、2024年9月には、作成したイラストをフォルダに分けて整理することを可能にする「作品フォルダ機能」などを実装したVer. 12.2.0を、それぞれリリースいたしました。いずれの新機能・新サービスもユーザーから好評を博しておりますが、中でも「AI学習妨害機能」及び「作品フォルダ機能」はプレミアム会員（サブスクリプション）のみが利用できる機能として実装したため、サブスクリプション契約数の増加にも大きく貢献いたしました。

以上の結果、売上高は2,611,002千円（前年同期比6.3%増）となりました。売上区分別の国内売上高及び海外売上高は以下のとおりであります。

| | | 前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日) | | 当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日) | | |
|----------------------------------|-------|---|------------|---|------------|------------|
| | | 金額 (千円) | 構成比 (%) | 金額 (千円) | 構成比 (%) | 増減率 (%) |
| アプリ広告 | 国内売上高 | 448,006 | 24.3 | 393,837 | 23.7 | △12.1 |
| | 海外売上高 | 1,397,570 | 75.7 | 1,265,841 | 76.3 | △9.4 |
| | 計 | 1,845,576 | 100.0 | 1,659,678 | 100.0 | △10.1 |
| アプリ課金 (サブスクリプション + 売切型アプリ) | 国内売上高 | 203,224 | 33.8 | 281,747 | 29.9 | 38.6 |
| | 海外売上高 | 398,764 | 66.2 | 661,428 | 70.1 | 65.9 |
| | 計 | 601,988 | 100.0 | 943,175 | 100.0 | 56.7 |
| その他 | 国内売上高 | 6,399 | 78.9 | 6,450 | 79.2 | 0.8 |
| | 海外売上高 | 1,710 | 21.1 | 1,698 | 20.8 | △0.7 |
| | 計 | 8,110 | 100.0 | 8,148 | 100.0 | 0.5 |
| 合計 | 国内売上高 | 657,630 | 26.8 | 682,035 | 26.1 | 3.7 |
| | 海外売上高 | 1,798,045 | 73.2 | 1,928,967 | 73.9 | 7.3 |
| | 計 | 2,455,675 | 100.0 | 2,611,002 | 100.0 | 6.3 |

当事業において主な収入源となっているアプリ広告につきましては、DAU（日次アクティブユーザー）は概ね高い水準を維持し、また、為替は2024年8月以降円高に振れた時期もあったものの、期を通しては円安傾向にありました。しかしながら、より収益性の高いサブスクリプションへのシフトを志向したこと、アプリ広告事業の一部施策において実装段階で予期せぬ不具合が生じたことなどから、売上高は1,659,678千円（前年同期比10.1%減）となりました。アプリ課金につきましては、サブスクリプションは前述した各種新機能の追加やPC版サブスクリプションの開始などのほか、既存ユーザーに対するプレミアム会員サービスへの契約促進施策が奏功し、売上高は687,181千円（前年同期比108.2%増）、会員数は232,053人（前年同期比94.4%増）と大きく増加いたしました。一方、売切型アプリにつきましては、モバイル版・PC（Windows）版ともにサブスクリプションへの誘導が想定以上に進んだため、売上高は255,994千円（前年同期比5.9%減）となりました。

また、当事業年度よりオーガニック成長へ転換し効果的な広告投資を行ったことにより、セグメント利益は1,342,323千円（前年同期比76.7%増）となりました。

<ソリューション事業>

当事業年度におきましては、クラウドコンピューティング技術やモバイルアプリ開発のニーズが拡大を続ける中、特にエンタープライズ企業との直取引による拡大と深耕を推進したことにより、受託開発が大きく成長いたしました。従来のBtoC向け開発からBtoB向け開発への移行が緩やかに進む一方、幅広い分野の法人や地方自治体からのシステム開発受注が増加し、クラウドサーバの構築・移行支援（サーバレス環境の構築を含む）では安定的な収益を生む運用保守案件も順調に増加しております。本サービスにおいては、最新の技術をマスターするためのeラーニングによる多彩な教育カリキュラムや豊富な開発経験を活かした社内勉強会、AIを活用した開発生産性の抜本的向上策、顧客ニーズに合致した様々なアプリケーション開発手法など、高付加価値なSI体制の構築に向けて諸施策の検討及び導入を積極的に推進しております。IT技術者派遣では、大手SIerやソフトウェア開発企業などを中心に、最新の技術を習得したハイスキルなITエンジニアを提供し、派遣先企業のIT・DX関連における課題解決を力強く支援いたしました。一方で、主に前事業年度に大量に採用したITエンジニアとの開発案件におけるミスマッチ等により、特に下期において多くの離職が顕在化したため、期末のITエンジニア数が240人（前年同期比で増減なし）となりました。こちらは、会社側とのコミュニケーションを質・量共に充実させる形で既に対策を実行いたしております。当事業は、引き続き、最新の技術を駆使したモバイルアプリ開発支援を強みに、売上高・利益を着実に増加させる安定成長事業として、より一層の事業拡大を目指してまいります。

以上の結果、売上高は2,014,424千円（前年同期比23.5%増）となり、内訳としては、受託開発が526,919千円（前年同期比89.5%増）、IT技術者派遣が1,487,505千円（前年同期比9.9%増）となりました。増収に加え、エンジニアの採用が一服したこともあり、セグメント利益は275,514千円（前年同期比204.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の資産合計は3,200,964千円となり、前事業年度末に比べ1,091,639千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が998,081千円、ソフトウェアが32,355千円、前払費用が26,630千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当事業年度末の負債合計は1,071,135千円となり、前事業年度末に比べ251,446千円の増加となりました。これは主に、長期借入金が20,454千円減少した一方で、未払法人税等が159,491千円、契約負債が96,770千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産合計は2,129,829千円となり、前事業年度末に比べ840,193千円の増加となりました。これは、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ9,888千円増加するとともに、当期純利益839,294千円の計上による増加と剰余金の配当50,890千円の支払い等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は2,227,851千円となり、前事業年度末と比較して998,081千円増加となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動による資金の増加は1,202,621千円(前事業年度は307,591千円の増加)となりました。これは主に、税引前当期純利益1,170,367千円の計上及び法人税等の支払額192,570千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動による資金の減少は144,877千円(前事業年度は192,833千円の減少)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出119,154千円、差入保証金の差入による支出20,287千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動による資金の減少は62,434千円(前事業年度は520,292千円の増加)となりました。これは主に、株式の発行による収入19,776千円、長期借入金の返済による支出31,090千円、配当金の支払額50,845千円等があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国際情勢の不安定さによるエネルギー・原材料価格の高騰や継続的な物価上昇、中国経済の減速などが依然として続き、景気の先行きは不透明な状況が続くものと想定しております。そのような中、当社は、前事業年度より、モバイル事業、ソリューション事業共に、売上高を成長させるとともに、利益の額及び率を重視する経営方針に転換いたしております。

事業セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

<モバイル事業>

高成長事業であるモバイル事業について、見通しのポイントは以下の5点となります。

- ・売上高については、同事業の主な販売先となるSSP (Supply Side Platform) 事業者やプラットフォーム事業者での円建売上高・売掛金算出のために適用されるドル円想定為替レートについて、2025年12月期通期でTTB140.0円と慎重に予想した結果、2,796百万円（前年同期比7.1%増）と保守的に見積り、算出しております。
- ・アプリ課金売上高のうち、サブスクリプション売上については、直近3ヶ年の契約増加数等を踏まえ、当事業年度の売上高×約160%（1,114百万円）として保守的に見積り、算出しております。引き続き、広告市況に左右されない収益基盤の確立を目指してサブスクリプションを強化してまいります。
- ・アプリ広告売上高については、当事業年度において実施した、売上向上のための一部施策での予期せぬ不具合から生じた影響が暫く継続するものとして、当事業年度の売上高×約88%（1,464百万円）として極めて保守的に見積り、算出しております。
- ・広告宣伝費については、海外へのプロモーション投資において、当事業年度以降、アクティブユーザー数（質）をより重視するフェーズへ移行しており、その方針が総じて奏功しているものと判断し、当事業年度の広告宣伝費の額×約80%（310百万円）として見積り、算出しております。
- ・2024年12月期第2四半期より開始した同事業の付加価値増を見据えたM&Aの調査は、後述する株式会社テクノスピーチの全株式取得（子会社化）を以って、一旦、終了しております。

<ソリューション事業>

安定事業であるソリューション事業について、見通しのポイントは以下の3点となります。

- ・売上高については、引き続き大手企業との直取引による拡大と深耕を推進するものとし、高採算な受託開発やIT技術者派遣の割合を当事業年度よりも相応に増加させるものの、想定外の待機工数が発生するリスク等を考慮し、2,108百万円（前年同期比4.7%増）として保守的に見積り、算出しております。
- ・採用費については、ITエンジニアにおいて能力及び経験（質）重視のスタンスを継続し、当事業年度の採用費の額×約130%（89百万円）として見積り、算出しております。
- ・更なる事業拡大の可能性を追求するべく、2024年12月期第2四半期よりM&Aの調査を開始しております。

<AI歌声合成事業>

2025年1月31日付で、株式会社テクノスピーチの全株式取得（子会社化）を完了し、同社の事業はAI歌声合成事業として位置付けることとなりました。本件株式取得により、株式会社テクノスピーチは2025年12月期から当社の連結子会社となり、2025年12月期以降の当社の連結業績に含まれる予定です（連結財務諸表に関する会計基準におけるみなし取得日の規定により、貸借対照表は2025年3月末付で、損益計算書は2025年4月1日から取り込む予定）。2025年12月期通期の当社連結業績に与える影響については現在精査中であり、今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以上の取組みを推進することにより、2025年12月期通期の業績予想は、売上高4,905百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益1,250百万円（前年同期比8.2%増）、経常利益1,254百万円（前年同期比7.2%増）、当期純利益870百万円（前年同期比3.7%増）としております。

なお、今後の見通しにつきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後の業況変化等により、業績予想の修正が必要になった場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）適用時期等につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2023年12月31日) | 当事業年度 (2024年12月31日) |
|-------------|------------------------|------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,229,770 | 2,227,851 |
| 売掛金 | 456,633 | 455,916 |
| 契約資産 | 872 | 2,357 |
| 貯蔵品 | 353 | 135 |
| 前渡金 | 38 | 360 |
| 前払費用 | 58,290 | 84,921 |
| その他 | 990 | 13,519 |
| 流動資産合計 | 1,746,947 | 2,785,061 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 31,891 | 28,668 |
| 工具、器具及び備品 | 9,048 | 8,552 |
| 減価償却累計額 | △19,121 | △14,202 |
| 有形固定資産合計 | 21,818 | 23,019 |
| 無形固定資産 | | |
| 商標権 | 373 | 308 |
| ソフトウェア | 122,229 | 154,585 |
| 無形固定資産合計 | 122,603 | 154,893 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期前払費用 | 10,259 | 11,142 |
| 繰延税金資産 | 50,169 | 66,633 |
| その他 | 157,526 | 160,214 |
| 投資その他の資産合計 | 217,954 | 237,989 |
| 固定資産合計 | 362,377 | 415,903 |
| 資産合計 | 2,109,325 | 3,200,964 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2023年12月31日) | 当事業年度 (2024年12月31日) |
|---------------|------------------------|------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 31,090 | 20,454 |
| 未払金 | 329,022 | 320,512 |
| 未払費用 | 37,821 | 38,130 |
| 未払法人税等 | 128,215 | 287,706 |
| 契約負債 | 83,991 | 180,762 |
| 預り金 | 22,962 | 32,963 |
| 賞与引当金 | 104,292 | 116,008 |
| 流動負債合計 | 737,396 | 996,538 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 43,654 | 23,200 |
| 役員退職慰労引当金 | 32,916 | 46,237 |
| その他 | 5,723 | 5,160 |
| 固定負債合計 | 82,293 | 74,597 |
| 負債合計 | 819,689 | 1,071,135 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 380,199 | 390,087 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 341,209 | 351,097 |
| その他資本剰余金 | 36,591 | 36,591 |
| 資本剰余金合計 | 377,800 | 387,688 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 45 | 45 |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 527,892 | 1,316,295 |
| 利益剰余金合計 | 527,937 | 1,316,341 |
| 自己株式 | - | △275 |
| 株主資本合計 | 1,285,937 | 2,093,841 |
| 新株予約権 | 3,698 | 35,987 |
| 純資産合計 | 1,289,635 | 2,129,829 |
| 負債純資産合計 | 2,109,325 | 3,200,964 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日) | 当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 4,086,864 | 4,625,427 |
| 売上原価 | 1,492,256 | 1,833,158 |
| 売上総利益 | 2,594,608 | 2,792,269 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売手数料 | 434,191 | 492,513 |
| 役員報酬 | 161,541 | 168,002 |
| 給料 | 158,405 | 189,459 |
| 賞与引当金繰入額 | 9,196 | 12,690 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 11,710 | 12,106 |
| 退職給付費用 | 2,101 | 2,669 |
| 広告宣伝費 | 956,284 | 379,837 |
| 減価償却費 | 4,713 | 3,309 |
| その他 | 422,360 | 376,320 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,160,505 | 1,636,910 |
| 営業利益 | 434,102 | 1,155,358 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 632 |
| 為替差益 | 2,764 | 4,576 |
| 受取報奨金 | 4,919 | 8,243 |
| 確定拠出年金返還金 | 976 | 2,197 |
| その他 | 946 | 351 |
| 営業外収益合計 | 9,607 | 16,000 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,792 | 964 |
| 株式交付費 | 7,741 | - |
| 上場関連費用 | 6,134 | - |
| その他 | - | 26 |
| 営業外費用合計 | 15,668 | 991 |
| 経常利益 | 428,041 | 1,170,367 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 0 | 0 |
| 税引前当期純利益 | 428,041 | 1,170,367 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 153,669 | 347,537 |
| 法人税等調整額 | △14,203 | △16,464 |
| 法人税等合計 | 139,465 | 331,073 |
| 当期純利益 | 288,575 | 839,294 |

【売上原価明細書】

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日) | | 当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日) | |
|-----------|----------|---|------------|---|------------|
| | | 金額(千円) | 構成比 (%) | 金額(千円) | 構成比 (%) |
| I 労務費 | | 1,424,051 | 89.9 | 1,740,282 | 89.5 |
| II 経費 | ※1 | 160,857 | 10.1 | 204,359 | 10.5 |
| 当期総製造費用 | | 1,584,909 | 100.0 | 1,944,641 | 100.0 |
| 合計 | | 1,584,909 | | 1,944,641 | |
| 他勘定振替高 | ※2 | 153,389 | | 199,974 | |
| 当期製品製造原価 | | 1,431,520 | | 1,744,666 | |
| ソフトウェア償却費 | | 59,730 | | 86,404 | |
| その他 | | 1,005 | | 2,086 | |
| 当期売上原価 | | 1,492,256 | | 1,833,156 | |

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度(千円) | 当事業年度(千円) |
|------|-----------|-----------|
| 外注費 | 13,166 | 10,227 |
| 通信費 | 78,369 | 107,623 |
| 地代家賃 | 33,003 | 50,568 |

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度(千円) | 当事業年度(千円) |
|--------|-----------|-----------|
| ソフトウェア | 92,814 | 119,154 |
| 研究開発費 | 10,044 | 16,222 |
| 広告宣伝費 | 26,468 | 30,932 |
| 営業費用 | 9,545 | 5,458 |
| その他 | 14,516 | 28,205 |
| 計 | 153,389 | 199,974 |

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | |
|---------------------|---------|---------|----------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 |
| 当期首残高 | 95,925 | 56,935 | 36,591 | 93,526 |
| 当期変動額 | | | | |
| 新株の発行 | 277,874 | 277,874 | | 277,874 |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | 6,399 | 6,399 | | 6,399 |
| 剰余金の配当 | | | | |
| 当期純利益 | | | | - |
| 自己株式の取得 | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | - |
| 当期変動額合計 | 284,274 | 284,274 | - | 284,274 |
| 当期末残高 | 380,199 | 341,209 | 36,591 | 377,800 |

| | 株主資本 | | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|-------|----------|---------|------|-----------|-------|-----------|
| | 利益剰余金 | | | 自己株式 | 株主資本合計 | | |
| | 利益準備金 | その他利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | | | |
| | | 繰越利益剰余金 | | | | | |
| 当期首残高 | 45 | 239,316 | 239,362 | - | 428,813 | 2,550 | 431,363 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 新株の発行 | | | - | | 555,749 | | 555,749 |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | | | - | | 12,799 | | 12,799 |
| 剰余金の配当 | | | | | - | | - |
| 当期純利益 | | 288,575 | 288,575 | | 288,575 | | 288,575 |
| 自己株式の取得 | | | | | - | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | - | | - | 1,148 | 1,148 |
| 当期変動額合計 | - | 288,575 | 288,575 | - | 857,123 | 1,148 | 858,271 |
| 当期末残高 | 45 | 527,892 | 527,937 | - | 1,285,937 | 3,698 | 1,289,635 |

当事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | |
|---------------------|---------|---------|----------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 |
| 当期首残高 | 380,199 | 341,209 | 36,591 | 377,800 |
| 当期変動額 | | | | |
| 新株の発行 | | | | |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | 9,888 | 9,888 | | 9,888 |
| 剰余金の配当 | | | | |
| 当期純利益 | | | | - |
| 自己株式の取得 | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | - |
| 当期変動額合計 | 9,888 | 9,888 | - | 9,888 |
| 当期末残高 | 390,087 | 351,097 | 36,591 | 387,688 |

| | 株主資本 | | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|-------|-----------|-----------|------|-----------|--------|-----------|
| | 利益剰余金 | | | 自己株式 | 株主資本合計 | | |
| | 利益準備金 | その他利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | | | |
| | | | | | | | |
| 当期首残高 | 45 | 527,892 | 527,937 | - | 1,285,937 | 3,698 | 1,289,635 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 新株の発行 | | | - | | - | | - |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | | | - | | 19,776 | | 19,776 |
| 剰余金の配当 | | △50,890 | △50,890 | | △50,890 | | △50,890 |
| 当期純利益 | | 839,294 | 839,294 | | 839,294 | | 839,294 |
| 自己株式の取得 | | | | △275 | △275 | | △275 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | - | | - | 32,289 | 32,289 |
| 当期変動額合計 | - | 788,403 | 788,403 | △275 | 807,904 | 32,289 | 840,193 |
| 当期末残高 | 45 | 1,316,295 | 1,316,341 | △275 | 2,093,841 | 35,987 | 2,129,829 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日) | 当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日) |
|-----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純利益 | 428,041 | 1,170,367 |
| 減価償却費 | 72,894 | 94,063 |
| 売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加) | △84,452 | △767 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △75 | △104 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 46,089 | 11,716 |
| 支払利息 | 1,792 | 964 |
| 株式交付費 | 7,741 | - |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △183,413 | △5,542 |
| 契約負債の増減額 (△は減少) | 43,996 | 96,770 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 12,675 | 13,321 |
| 未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少) | 15,260 | 4,523 |
| その他 | 61,857 | 10,650 |
| 小計 | 422,408 | 1,395,965 |
| 利息の支払額 | △1,359 | △773 |
| 法人税等の支払額 | △113,457 | △192,570 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 307,591 | 1,202,621 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △21,992 | △11,412 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △91,811 | △119,154 |
| 差入保証金の差入による支出 | △66,790 | △20,287 |
| 保険積立金の積立による支出 | △6,589 | △4,490 |
| その他 | △5,650 | 10,468 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △192,833 | △144,877 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △34,380 | △31,090 |
| 株式の発行による収入 | 560,806 | 19,776 |
| 自己株式の取得による支出 | - | △275 |
| 配当金の支払額 | - | △50,845 |
| その他 | △6,134 | - |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 520,292 | △62,434 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △44 | 2,771 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 635,004 | 998,081 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 594,765 | 1,229,770 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,229,770 | 2,227,851 |

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「モバイル事業」及び「ソリューション事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「モバイル事業」は、インターネット端末向けアプリケーションの研究・開発・配信及び販売を行っております。

「ソリューション事業」は、IT技術者派遣及びアプリケーションの受託開発、ITインフラの構築並びにその運用、保守を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1、2、 3、4 | 財務諸表計上額 (注) 5 |
|------------------------|-----------|---------------|-----------|------------------------|------------------|
| | モバイル事業 | ソリューション 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,455,675 | 1,631,189 | 4,086,864 | — | 4,086,864 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 2,455,675 | 1,631,189 | 4,086,864 | — | 4,086,864 |
| セグメント利益 | 759,721 | 90,560 | 850,281 | △416,178 | 434,102 |
| セグメント資産 | 513,374 | 232,850 | 746,225 | 1,363,099 | 2,109,325 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 66,021 | 3,974 | 69,996 | 2,897 | 72,894 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 97,667 | 18,681 | 116,349 | 467 | 116,816 |

- (注) 1. セグメント利益の調整額△416,178千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額1,363,099千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金であります。
3. その他の項目の調整額の減価償却費2,897千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
4. その他の項目の調整額の有形固定資産及び無形固定資産の増加額467千円は、全社資産の設備投資額であります。
5. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1、2、 3 | 財務諸表計上額 (注) 4 |
|------------------------|-----------|---------------|-----------|----------------------|------------------|
| | モバイル事業 | ソリューション 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,611,002 | 2,014,424 | 4,625,427 | — | 4,625,427 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 2,611,002 | 2,014,424 | 4,625,427 | — | 4,625,427 |
| セグメント利益 | 1,342,323 | 275,514 | 1,617,837 | △462,479 | 1,155,358 |
| セグメント資産 | 544,565 | 253,002 | 797,567 | 2,403,397 | 3,200,964 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 87,282 | 4,869 | 92,152 | 1,911 | 94,063 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 122,464 | 5,090 | 127,554 | — | 127,554 |

- (注) 1. セグメント利益の調整額△462,479千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額2,403,397千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金であります。
3. その他の項目の調整額の減価償却費1,911千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
4. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前事業年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|
| | モバイル事業 | ソリューション事業 | |
| アプリ広告 | 1,845,576 | — | 1,845,576 |
| サブスクリプション | 330,001 | — | 330,001 |
| 売切型アプリ | 271,986 | — | 271,986 |
| IT技術者派遣 | — | 1,353,060 | 1,353,060 |
| 受託開発 | — | 278,128 | 278,128 |
| その他 | 8,110 | — | 8,110 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 2,455,675 | 1,631,189 | 4,086,864 |
| その他の収益 | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 2,455,675 | 1,631,189 | 4,086,864 |

当事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|
| | モバイル事業 | ソリューション事業 | |
| アプリ広告 | 1,659,678 | — | 1,659,678 |
| サブスクリプション | 687,281 | — | 687,281 |
| 売切型アプリ | 255,994 | — | 255,994 |
| IT技術者派遣 | — | 1,487,505 | 1,487,505 |
| 受託開発 | — | 526,919 | 526,919 |
| その他 | 8,048 | — | 8,048 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 2,611,002 | 2,014,424 | 4,625,427 |
| その他の収益 | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 2,611,002 | 2,014,424 | 4,625,427 |

(1株当たり情報)

| | 前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日) | 当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日) |
|-----------------------|---|---|
| 1株当たり純資産額 | 353円76銭 | 572円09銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 84円20銭 | 230円06銭 |
| 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 81.07 | 217.40 |

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は、2023年3月23日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から前事業年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日) | 当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日) |
|--|---|---|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 当期純利益(千円) | 288,575 | 839,294 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 288,575 | 839,294 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 3,427,465 | 3,648,079 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | | |
| 当期純利益調整額(千円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | 131,920 | 212,461 |
| (うち新株予約権(株)) | 131,920 | 212,461 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要 | 新株予約権1種類 (新株予約権の数55,000個) | — |

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度 (2023年12月31日) | 当事業年度 (2024年12月31日) |
|--------------------------------|------------------------|------------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 1,289,635 | 2,129,829 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(千円) | 3,698 | 35,987 |
| (うち新株予約権)(千円) | (3,698) | (35,987) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(千円) | 1,285,937 | 2,093,841 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株) | 3,635,063 | 3,659,978 |

(重要な後発事象)

当社は、2024年12月26日開催の取締役会において、株式会社テクノスピーチの株式を100%取得し、子会社化することを決議し、2025年1月31日付で、株式会社テクノスピーチの全株式取得（子会社化）を完了いたしました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社テクノスピーチ

事業の内容 AI音声合成技術関連事業

②企業結合を行った主な理由

当社は、2023年3月23日の東証グロース市場上場以降、既存ビジネスであるモバイル事業及びソリューション事業の更なる拡大に尽力いたしておりますが、より持続的な成長基盤を確立するため、2024年4月よりM&A（企業の合併・買収）の調査を開始いたしました。こうした中、AI音声合成技術関連事業を展開する株式会社テクノスピーチの世界レベルの極めて高い技術力及び開発力と、同技術の市場成長性を勘案いたしました結果、当社主力製品であるモバイルペイントアプリ「ibisPaint」と高いシナジー効果が期待でき、当社の企業価値が更に高められると判断し、この度、株式会社テクノスピーチの全株式を譲り受けることとなりました。

株式会社テクノスピーチは、国立大学法人名古屋工業大学を中心として開発された世界最先端の音声関連技術の普及を目的として2009年11月設立されました。主にエンターテインメント事業領域での大手企業からの継続的な受託業務（基盤事業であるBtoB事業）をこなすことで技術力、開発力を高めつつ、2013年からサービス提供を開始した大手企業4社と共同で展開する「CeVIO」プロジェクトに加え、2022年から新たにサービス提供を開始している「VoiSona」プロジェクトにて、BtoC領域を中心に、成長事業として更なる事業拡大を見込んでおります。特に、最新のAI技術で人間の歌い方をリアルに再現する音声創作ソフトウェア「VoiSona」と、当社のモバイルペイントアプリ「ibisPaint」の両製品は、日本のイラスト・音楽・ミュージックビデオなどを含む創作文化に相性が良く、共にBtoC向けクリエイティブ製品でありユーザーターゲットも近いと思われまます。

当社は、株式会社テクノスピーチを連結子会社化することにより、AI音声創作ソフトウェア「VoiSona」のグローバル展開を加速させ、「ibisPaint」と同様、「VoiSona」を世界中のユーザーに愛される製品に進化させてまいります。

③企業結合日

2025年1月31日

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

変更はありません。

⑥取得する議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | |
|-------|----|--------|
| 取得の対価 | 現金 | 512百万円 |
| 取得原価 | | 512百万円 |

(3) 主要な取得関連費用の内訳及び金額

現時点では確定しておりません。

(4) 発生したのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

- (5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳現時点では確定しておりません。